

新技術

NETIS登録番号	CG-240009-A
技術名称	強草目地シート
事後評価	事後評価未実施技術
テーマ設定型比較表への掲載	無
受賞等	
技術審査証明技術	建設技術審査証明※
事前審査・事後評価	事前審査 活用効果評価
技術の位置付け (有用な新技術)	推奨技術 準推奨技術 評価促進技術 活用促進技術
旧実施要領における 技術の位置付け	活用促進技術(旧) 設計比較対象技術 少実績優良技術
活用効果調査入力様式	-A 活用効果調査が必要です。
適用期間等	

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日：2025/01/06

概要

副題	舗装とブロックの目地から発生する強壮雑草を防除する目地防草材
分類 1	道路維持修繕工 ― 道路除草工 ― 防草工 ― その他
分類 2	道路維持修繕工 ― 道路除草工 ― 道路除草工
分類 3	
分類 4	
分類 5	
区分	製品

- ①何について何をする技術なのか？
 - 歩道のアスファルト舗装とコンクリートブロックの隙間など、目地からの強壮雑草の発生を未然に抑止する技術
- ②従来は、どのような技術で対応していたのか？
 - 除草工（年2回、10年分）
- ③公共工事のどこに適用できるのか？
 - 歩道のアスファルト舗装とコンクリートブロックの隙間など、目地からの発生する雑草の防除
- ④その他
 - 特になし



材 質 サンド付改質アスファルト＋ポリエステル防草シート

物 性	項 目		物 性 値	試 験 方 法
	質量 (kg / m ²)		1.4	JIS A 6013
	厚 さ (mm)		1.5	JIS A 6013
	引張強さ (N / cm)	長手方向	60 以上	JIS A 6013
		横方向	60 以上	JIS A 6013

品 名	規 格
強草目地シート	15cm×5m
シールプライマー#9	500g／缶 (約12.5m分) ^{※1}
接着剤Dタッチ	333mℓ／本 (約1.5m分) ^{※2}

※1 シールプライマー#9塗布量は舗装面の凹凸状況により使用量が変わります。
※2 接着剤Dタッチ使用量は舗装面の凹凸状況により使用量が変わります。

規 格・材 料



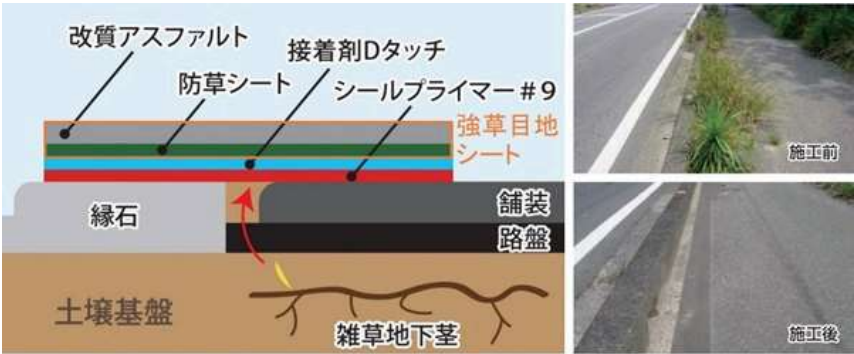
強草目地シート シールプライマー#9 接着剤Dタッチ

※一部使用材料が変更になりました。

製品概要

新規性及び期待される効果

- ①どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？）
- 目地から発生する雑草の処理を、雑草が繁茂してから行う除草作業から、発生を未然に防止する方法に変えた。
- ②期待される効果は？（新技術活用のメリットは？）
- 目地から発生する雑草の処理を、雑草が繁茂してから行う除草作業から、発生を未然に防止する方法に変えたことにより、以下の効果が期待できる。
 - 継続した除草工は不要となる。
 - 雑草を常に発生しない状態に抑えるため、防草の品質が向上し、視界確保による車両・歩行者の安全性が向上する。
 - 雑草処分量削減による環境への負荷軽減が図れる。
- ③その他
- チガヤ、ヨシ、ススキなどの根茎除去が困難な強壮雑草にも対応する強度を有し、耐用年数約10年を確保した。
 - 火器（バーナー等）を使用せず、かつ、地表部伐採のみで設置可能とした。
 - 不陸や段差のある目地にも適用可能とした。



特長	強壮雑草を確実に抑制	接着剤「Dタッチ」とプライマーの効果で接着強度を向上。 裏面ポリエステル防草シートで雑草を防止。 表面をサンド付改質アスファルトで保護することで防草シートの効果を長期保持。 接着剤「Dタッチ」でシートと舗装面の隙間を充填。
	火器を使用せずに設置	火器（バーナー等）不要で施工可能。
	前処理の手間が軽減	地表部伐採のみで設置可能。
	段差にも追従	材料と工法を変更することにより、不陸や段差のある目地にも適用可能に。
材 質		サンド付改質アスファルト + ポリエステル防草シート

標準断面および特長

適用条件

- ①自然条件
- 天候：雨天時や積雪時には施工不可。必ず乾いた状態の路面に使用すること。
 - 気温：低温時（5℃以下）は施工不可。
- ②現場条件
- 作業スペースとして、1m×1m程度必要
- ③技術提供可能地域
- 技術提供地域に制限なし
- ④関連法令等
- 特になし

適用範囲

①適用可能な範囲

- ・歩道のアスファルト舗装とコンクリートブロックの隙間から発生する雑草の防除

②特に効果の高い適用範囲

- ・機械を用いた除草が困難な現場
- ・強壮雑草を確実に抑制したい現場
- ・火器を使用せずに設置したい現場
- ・前処理の手間を軽減（地表部伐採のみで設置）したい現場
- ・不陸や段差がある目地への適用
- ・耐用年数10年を確保したい現場
- ・多年生雑草の生息地域

③適用できない範囲

- ・歩道のアスファルト舗装とコンクリートブロックの隙間以外の目地から発生する雑草の防除は、要相談
- ・車両も軽い乗り入れであれば耐久可能だが、切り返しや除雪車による除雪作業には耐えられず破損する恐れが高いため、駐車場や車道への使用には適さない。

留意事項

①設計時

- ・路面の劣化が著しい場合、もしくは、脆弱な場合は、十分な効果が得られない場合があるので注意すること。
- ・シートが破損する恐れがあるため、車両乗り上げの無い場所で使用すること。
- ・現場条件により、事前除草の歩掛が変化するため、注意すること。

②施工時

- ・路面が濡れた状態では施工不可。必ず、路面が乾いた状態で施工すること。
- ・冬季などに行う低温時の施工では、プライマーが乾きにくいため、養生時間を多くとること。

③維持管理時

- ・強草目地シート設置部分に砂埃などの不純物が堆積した場合は、除去を行う。

④その他

- ・少量の場合常時在庫あり（1,500m程度）
- ・受注生産の場合、1,000巻当たり納期1.5ヶ月（その他大量発注の場合は別途相談）

従来技術との比較

活用の効果

比較する従来技術		・ 除草工（年2回、10年分）			
項目	活用の効果			比較の根拠	
経済性	向上 (29.89%)	同程度	低下	初期の経済性は低下するが継続除草工が不要となるため、8年目以降は向上する	
工程	短縮	同程度	増加 (-187.5%)	シート施工に6.9日／1,000m必要なため、機械除草工1回と比較すると工程は増加するが、3年以上継続除草工が必要な場合は工程は短縮する	
品質	向上	同程度	低下	雑草を常に発生しない状態に抑えることができるため防草の品質が向上する	
安全性	向上	同程度	低下	雑草を常に発生しない状態に抑えるため、視界確保による車両・歩行者の安全性の向上が図られる	
施工性	向上	同程度	低下	シート施工に時間を要するため、機械除草工1回と比較すると施工性は低下するが、継続除草工が不要になる	
環境	向上	同程度	低下	雑草処分量削減により、環境への負荷の軽減が図られる	
	向上	同程度	低下		
	向上	同程度	低下		
その他、技術の アピールポイント等	除草工は、年2回の実施、除草前の視通確保、雑草処分が課題である。本技術の活用により、継続除草工が不要となるため、施工性が向上し、雑草を常に発生しない状態に抑えるため、視界確保による車両・歩行者の安全性向上、雑草処分量削減による環境への負荷の軽減が図れる。				
コスト タイプ	サイクルコスト型：D(Ⅰ)型				
		サイクルコスト (円/単位あたり)			
		1年	3年	5年	10年
	新技術	2,676,670 円	2,676,670 円	2,676,670 円	2,676,670 円
	従来技術	381,800 円	1,145,400 円	1,909,000 円	3,818,000 円

活用の効果の根拠

基準とする数量	1000	単位	m
	新技術	従来技術	向上の程度
経済性	2,676,670円	3,818,000円	29.89 %
工程	6.9日	2.4日	-187.5 %

新技術の内訳						
項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
強草目地シート	W15cm×L5m	200	巻	3,300 円	660,000 円	自社単価
Dタッチ	333ml（499.5g）	630	本	1,750 円	1,102,500 円	自社単価
シールプライマー#9	500g/缶	40	kg	6,600 円	264,000 円	自社単価
管理	土木一般世話役	1	人	31,000 円	31,000 円	令和6年度公共工事 設計労務単価（東京都）
プライマー塗布工	普通作業員	4	人	25,400 円	101,600 円	令和6年度公共工事 設計労務単価（東京都）

シート貼付工	普通作業員	11	人	25,400 円	279,400 円	令和6年度公共工事 設計労務単価（東京 都）
充填工	普通作業員	1	人	25,400 円	25,400 円	令和6年度公共工事 設計労務単価（東京 都）
雑費	労務費の5%	1	式	21,870 円	21,870 円	自社歩掛
道路除草工		1	回	190,900 円	190,900 円	除草費＋焼却費（従 来技術と同等）

従来技術の内訳						
項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
除草費	道路除草工 機械除 草（肩掛式）,集草, 積込運搬 飛び石防 護ダンプトラック (オンロード・ディ ーゼル・2t積級) 21.5 km以下	1,000	m2	155.9 円	155,900 円	令和6年度土木工事 積算標準単価施工パ ッケージ型積算方式
焼却費		2,000	kg	17.5 円	35,000 円	自社市場調査価格 （令和6年度5月時点 東京都）
道路除草工	継続除草（19回分）	19	回	190,900 円	3,627,100 円	除草費＋焼却費

特許・審査証明

特許・実用新案

特許情報					
実用新案	特許番号				
	実用新案	有り	出願中	出願予定	無し
	実施権				
	備考				

第三者評価・表彰等

	建設技術審査証明	建設技術評価
証明機関		
番号		
証明年月日		
URL		
	その他の制度等による証明1	その他の制度等による証明2
制度の名称		
番号		
証明年月日		
証明機関		
証明範囲		
URL		

評価・証明項目と結果

証明項目	試験・調査内容	結果
------	---------	----

単価・施工方法

施工単価

- <施工条件>
- 【共通】
- ・ 施工内容：歩道のアスファルト舗装と縁石の目地から発生する雑草の除草工
 - ・ 施工数量：1,000m（除草は幅1mとして算出する）
 - ・ 1m当たり2kgの除草を想定し、焼却処分とする
 - ・ 施工地域：東京都
- 【新技術】
- ・ 強草目地シートによる防除工
- 【従来技術】
- ・ 除草工(肩掛式、年2回、10年分)
- <積算条件>
- 【共通】
- ・ 労務単価：令和6年度公共工事設計労務単価(東京都)
- 【新技術】
- ・ 運用歩掛：自社歩掛（全国）令和6年度
令和6年度土木工事積算標準単価施工パッケージ型積算方式
（道路除草工 機械除草（肩掛式）,集草,積込運搬 飛び石防護有
ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積級) 21.5km以下）（東京都）
- ・ 材料単価：自社単価（全国）（令和6年度5月現在）
- 【従来技術】
- ・ 運用歩掛：令和6年度土木工事積算標準単価施工パッケージ型積算方式
（道路除草工 機械除草（肩掛式）,集草,積込運搬 飛び石防護有
ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積級) 21.5km以下）（東京都）
- ・ 焼却費：市場調査にて試算（令和6年度5月現在）（東京都）

10年目までの経済性比較

	新技術	従来技術	判定
1年目	¥2,676,670	¥381,800	従来技術の経済性が優れる
2年目	¥2,676,670	¥763,600	従来技術の経済性が優れる
3年目	¥2,676,670	¥1,145,400	従来技術の経済性が優れる
4年目	¥2,676,670	¥1,527,200	従来技術の経済性が優れる
5年目	¥2,676,670	¥1,909,000	従来技術の経済性が優れる
6年目	¥2,676,670	¥2,290,800	従来技術の経済性が優れる
7年目	¥2,676,670	¥2,672,600	ほぼ同等
8年目	¥2,676,670	¥3,054,400	新技術の経済性が優れる
9年目	¥2,676,670	¥3,436,200	新技術の経済性が優れる
10年目	¥2,676,670	¥3,818,000	新技術の経済性が優れる

歩掛り表あり（自社歩掛）

施工方法

①プライマー塗布

- ・除草、路面清掃、位置出しの後、ハケを用いてシールプライマー#9を均一に塗布する。(塗布の目安：40g/m)
- ・プライマーの溶剤が揮発し乾燥するまで、夏期は10分以上、冬期は20分以上、養生を行う。

②接着剤塗布

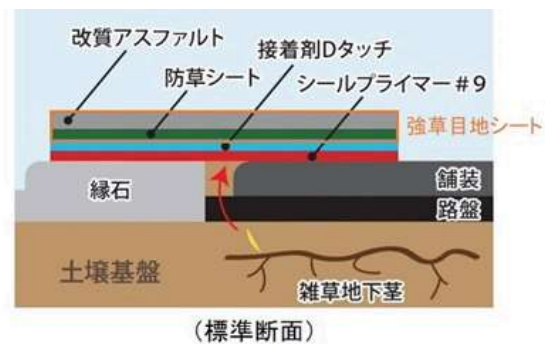
- ・ノズルを先端から3番目でカットし、接着剤（Dタッチ）を舗装面に4列に塗布する。(1巻(5m)当り、Dタッチ3本使用目安)

③貼り付け・圧着

- ・強草目地シートを拡げ、位置を合わせながら貼り付けていく。
- ・ローラーでシートを圧着し、Dタッチが均等に拡がるようにシート全体に馴染ませる。
- ・シート延長部は、5cm以上重ねてシートを貼り付けた後、同様に圧着させる。

④接着剤隙間充填

- ・シートと舗装面に隙間がある場合は、Dタッチで隙間充填する。
- ・点検し、問題なければ完成。



標準断面および施工手順

今後の課題とその対応計画

①今後の課題

- ・特になし

②対応計画

- ・特になし

問合せ先・その他

収集整備局	中国地方整備局			
開発年	2023 (R05)			
登録年度	2024 (R06)			
登録年月日	2024/11/19 (R06/11/19)			
最終評価年月日				
最終更新年月日	2025/01/06 (R07/01/06)			
キーワード	安心・安全環境情報化コスト削減・生産性の向上公共工事の品質確保・向上景観伝統・歴史・文化リサイクル			
	自由記入：目地防草火器不使用根力キ不要			
開発目標	省人化省力化経済性の向上施工精度の向上耐久性の向上安全性の向上作業環境の向上周辺環境への影響抑制			
	地球環境への影響抑制省資源・省エネルギー品質の向上リサイクル性向上			
開発体制	単独（産）単独（官）単独（学）共同研究（産・官・学）共同研究（産・産）共同研究（産・官）共同研究（産・学）			
開発会社	株式会社白崎コーポレーション			
問合せ先	技術			
	会社	株式会社白崎コーポレーション		
	担当部署	グリーンナップ事業 技術開発部	担当者	広瀬 茜
	住所	916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23		
	TEL	0778-62-2800	FAX	0778-42-8515
	E-MAIL	greenup@shirasaki.co.jp	URL	https://www.shirasaki.co.jp/
	営業			
	会社	株式会社白崎コーポレーション		
	担当部署	グリーンナップ事業部 第二営業部 第三営業G	担当者	岸本 洋平
	住所	916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23		
	TEL	0778-62-2800	FAX	0778-42-8515
	E-MAIL	greenup@shirasaki.co.jp	URL	https://www.shirasaki.co.jp/
	その他			
	実験等実施状況			

【機能性確認試験】

- 1.実施日：2023年4月～2024年3月
- 2.場所:福岡県北九州市
- 3.目的:本製品の強壮雑草に対する抑制機能を確認する。
- 4.方法:強壮雑草が繁茂している現場でフィールド試験を実施する。
- 5.結果:強壮雑草（地下茎雑草）は根に養分を多く蓄えていることから、シート敷設から半年までの期間で最も雑草が抜け出す可能性が高いが、施工6カ月後、11カ月後でも雑草が見られなかった。
- 6.考察:本製品の強壮雑草に対する抑制機能が有効であることを確認した。



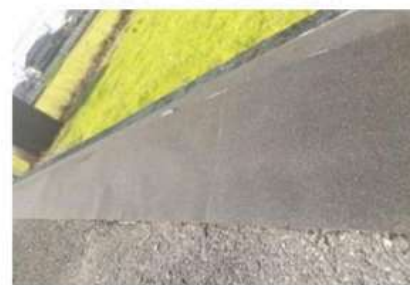
施工前



施工直後



施工6ヶ月後



施工11ヶ月後



未施工部には雑草が繁茂。施工部には雑草無し
フィールド試験経過状況



雑草の押し上げによる舗装部劣化部分

添付資料

【その他資料①】 強草地シートカタログ

【その他資料②】 施工マニュアル

【その他資料③】

参考文献

・特になし

その他写真



施工事例（滋賀県）



施工事例（愛知県）



施工事例（山梨県）

施工実績

国土交通省	0件
その他の公共機関	0件
民間等	0件

詳細説明資料

評価項目			申請者記入欄			
大	中	小	①現行基準値等	③申請技術について実証により確認した数値等	④従来技術との比較＜結果＞	備考
品質	耐久性（物性）	—	—	—	—	—
	耐久性（形状）	—	—	—	—	—
	耐久性（能力）	耐久性	—	10年相当の耐久性を有する	比較対象外	—
	材料	材質	—	サンド付改質アスファルト＋ポリエステル防草シート	比較対象外	—
	施工	—	—	—	—	—
	完成物	防草効果	—	雑草を常に発生しない状態に抑えることができる	向上 従来は、除草後、次回除草（半年先）までの間に、徐々に雑草が繁茂する	—
安全性	構造	視界確保	—	雑草を常に発生しない状態に抑えるため、視界確保による車両・歩行者の安全性の向上が図られる	向上 従来は、除草後、次回除草（半年先）までの間に、徐々に雑草が繁茂するため、視界不良による車両・歩行者の安全性低下が懸念される	—
	施工段階	—	—	—	—	—
施工性	現場条件	作業スペース	—	作業スペースとして、1m×1m程度必要	同等	—
	適用範囲	適用可能な範囲	—	歩道のアスファルト舗装とコンクリートブロックの隙間から発生する雑草の防除	同等	—
	自然条件	自然条件	—	・天候：雨天時や積雪時には施工不可。必ず乾いた状態の路面に使用すること。 ・気温：低温時（5℃以下）は施工不可。	同等	—
	施工管理	継続除草工	—	シート施工に時間を要するため、機械除草工1回と比較すると施工性は低下するが、継続除草工が不要になる	低下 従来は、施工1回当たりの工程は短いが、年2回の継続除草工が必要である	—
	難易度	—	—	—	—	—
	環境	社会環境	—	雑草処分量削減により、環境への負荷の軽減が図られる	向上 従来は、大量の雑草処分量が必要である	—
	作業員環境	—	—	—	—	—